

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院集中治療室では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2013年1月1日 ～ 2016年12月31日の間に、血液疾患で虎の門病院血液内科に入院し、集中治療室に入室し治療を受けられた方

### 【研究課題名】

集中治療室に入室した血液内科患者の実態調査

### 【研究の目的・背景】

虎の門病院集中治療室には、侵襲の大きい手術後の患者さんや人工呼吸器や循環管理が必要な患者さんが入室しています。その中でも、血液内科の患者さんは治療の過程で重篤化することが多く、常に1～3名の方が入室しています。以前は、入室後そのまま集中治療室より退室できないことが多かったのですが、最近は入室後に状態が改善し、以前よりも退室できる患者さんが増加しています。その増加した要因を今まで調査したことはありませんでした。そこで、集中治療室に入室した患者さんがどのような時期に入室し、どのような患者さんが症状改善し退室できたのか調査することで、今後の入退室時期の決定や集中治療室の活用方法、対象患者さんの特性から集中治療室の看護師に必要な看護技術や知識を見出し、より多くの血液内科の患者さんが回復できるようにしたいと考えます。この研究の目的は、当院の血液内科で集中治療室に入室した患者さんの実態調査です。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2016年12月13日 ～ 2019年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌

等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院看護部、宗村美江子のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院外へ提供することはありません。

【利用する診療情報】

主病名、年齢、性別、治療内容、血液データ、転帰など

【研究代表者】

虎の門病院 看護部 宗村美江子

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 看護部 宗村美江子

【利用する者の範囲】

なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 集中治療室 柿本裕子

電話 03-3588-1111(代表)